

<No22 : 地図編集>

次の文は、地図の投影について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. ガウス・クリューゲル図法は、平面直角座標系（平成 14 年国土交通省告示第 9 号）で用いられている投影法である。
2. ユニバーサル横メルカトル図法は、国土地理院刊行の 1/25,000 地形図、1/50,000 地形図で採用されている。
3. 平面直角座標系（平成 14 年国土交通省告示第 9 号）では、日本全国を 19 の区域に分けており、座標系の X 軸は、座標系原点において子午線に一致する軸とし、真北に向う値を正としている。
4. 国土地理院がインターネットで公開している地図情報サービス「地理院地図」は、メルカトル投影の数式を使って作成した地図画像を使用している。
5. 地球の表面を平面上に投影した地図において、距離（長さ）、方位（角度）及び面積を同時に正しく表すことができる。